

の各部長委員の決定、會社に對する父の委員の選定等を行  
したのである。

かくて同日父の委員六名は前後二回會社を訪問長米管を  
手交したのであるが、會社側に於ては山田工場長柄氣入既  
中の島小野事務長代りて會見し本社の指示を仰いで何分の  
回答をなすことを約束したのである。

右會見に依り争議關係は本争議の解決に程々の時日を要す  
るものとして、先づ争議會本部として戸畑市茂生町三丁目  
の空家（二階建）を借入れ参加委員を籠城せしめ、九脚  
本部より争議資金五十圓の寄贈を受け、更に争議會の一部  
編成を改め陣容の強化を図り、一方警察當局を訪問事情を  
説明して取締を求め、時節柄小徳行動に出でざる様極めて  
強固なる結果と就制亦りを發揮したのである。

而して會社側に於ては右長米管に對し且ちに本社の指示を  
承めたところ、翌十二日夕刻本社員派遣の旨通報に接した  
ので、工場の上層措置として技術者数名並に人大約三十名  
に依り一部探索及び兵の残務整理をなしたのである。

2、 第二日（十一月十二日）以後の經過

十一月十二日緊要社に能率第二日を迎えた争議會本部に在  
りては、福岡監九坂本部並に友誼團體の應援隊中小倉製鋼  
労働組合より送付し來つた白米五十俵を高く積み重ねて其  
の威容を示し、且つ團員父兄會を準備して争議經過の報告  
をなすと共に組合幹部より一致結束して目的の貫徹に邁進  
する決意を宣明あり、終了後引續き父兄慰安會を行つたの  
である。越えて十三日は終日會社側の回答を待ちたるも來  
らず行儀の狀態を續けた。同日八輪失業者同盟が争議會本